

2.物理科学研究科

構造分子科学専攻

受入れ可能学生数:若干名

授業科目名	授業科目の内容	担当教員		単位	開講学期	曜日・時限	教室
		職名	教員氏名				
構造生体分子科学	様々な生命現象を分子レベルで概説する。特に、タンパク質立体構造と機能の基礎、生命のセントラルドグマであるDNAの複製、RNAへの転写、蛋白質への翻訳や、細胞内の恒常性維持、呼吸や光合成などの生体エネルギー変換、生体内情報伝達、視覚に代表される感覚受容、神経細胞での生体電気信号の発生などについて、最新の研究トピックスを題材としながら、それらの分子機構について講述する。	教授	青野 重利	2	後期	集中講義	分子研 研究棟 301
		准教授	古谷 祐詞				
		准教授	古賀 信康				
基礎電子物性論	ハイ共役分子材料および強相関電子材料の電子構造および諸物性に関する研究分野を紹介する。物性を議論する上で有益な光電子分光法や各種表面分析法による評価について、放射光を利用した先端的内容を解説する。	教授	解良 聡	2	後期	集中講義	分子研 研究棟 301
		准教授	田中 清尚				

【備考】

○開講日程について(予定)

「構造生体分子科学」:12/5,6,7,8 10:00~12:00, 13:00~17:00

「基礎電子物性論」:12/19,20,21,22 10:00~12:00, 13:00~17:00

●問い合わせ先

岡崎統合事務センター・国際研究協力課大学院係

TEL:0564-55-7139, MAIL:r7139@orion.ac.jp

機能分子科学専攻

受入れ可能学生数:若干名

授業科目名	授業科目の内容	担当教員		単位	開講学期	曜日・時限	教室
		職名	教員氏名				
機能物性科学	主として分子集合体を対象に、固体電子物性論および計測手法の基礎概論およびデバイス物理の基礎について講義を行う。	教授	平本 昌宏	2	前期	火曜 10:30-12: 30,13:30- 15:30	山手4号 館3階会 議室
		准教授	中村 敏和				
錯体触媒化学	分子の化学変換を司る「触媒」の構造、機能を理解することは、触媒開発に関わる基礎化学および化学プロセスへの応用の両視点から重要である。遷移金属錯体触媒、ルイス酸・ルイス塩基触媒、有機分子触媒を題材に、錯体触媒による化学反応特性を概説する。	教授	魚住 泰広	2	後期	火曜 10:30-12: 30,13:30- 15:30	山手4号 館3階会 議室
		准教授	榎山 儀恵				

【備考】

○開講日程について(予定)

「機能物性科学」:5/9,16,23,30,6/6,13,20の毎週火曜日 10:30~12:30, 13:30~15:30

「錯体触媒化学」:1/9,16,23,2/6,13,20,27の毎週火曜日 10:30~12:30, 13:30~15:30

●問い合わせ先

岡崎統合事務センター・国際研究協力課大学院係

TEL:0564-55-7139, MAIL:r7139@orion.ac.jp